

しゃかい かじゆ うけんきゆう ちょうせん 社会科自由研究に挑戦しよう！

学校で学習したことや生活の中で疑問^{ぎもん}に思ったことなどについて調べ、考え、まとめよう！自由研究で大切なことは、研究テーマについて自分で見たり、聞いたり、さわったりして、体をつかって調べることです。夏休みはその絶好^{ぜっこう}のチャンスです。さあ、自由研究を始めよう！



シジ丸

ナウミン

けんきゆう テーマ例 (過去の作品より一部抜粋)

3・4年

- 「うなぎパイのひみつ」
- 「まち探検をしたよ」
- 「～SDGs～浜松市のごみ問題」
- 「私たちのまち浜松のゆかた」
- 「遠州^{えんしゅう}大念仏^{だいにふつ}について」
- 「未来^{みらい}につなぐ伝統^{でんとう}漁^{りょう}『たきや 漁』」
- 「今の学校と昔の学校」
- 「浜松地域ブランド『やらまいか浜松』」
- 「広がれ！私たちの町の思いやり～ユニバーサルデザインとバリアフリーで町を豊かにしよう～」

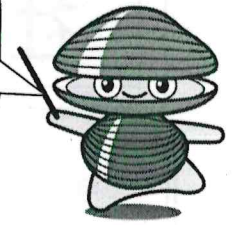
5・6年

- 「静岡と鹿児島のお茶を比べてみて分かったこと」
- 「東日本大震災被災地^{ひさいち}を訪れて～南海トラフ地震への備え^{そな}を考える～」
- 「貨物鉄道^{かもつてつどう}をこれからどう活かしていくか～物流^{ぶつりゅう}の問題・環境問題^{かんきょうもんだい}の対策～」
- 「安間川^{けいほう}に警報^{けいほう}が出やすい理由～こんな施設^{しせつ}があったらいいな～」
- 「家康～健康オタクの長生き術」
- 「東海道 飛脚^{ひきゃく}の旅」
- 「徳川 VS 武田^{たかてんじん}～高天神を制する者は、遠州を制す～」
- 「関税^{かんぜい}とは？輸出入^{ゆしゅつにゅう}の仕組みとは？」

応募のきまりとお知らせ

- ① 作品は、**A4サイズのノートやファイル**などにまとめましょう。A4サイズでなかったり、大きなポスターのような形でまとめたりした場合は、審査^{しんさ}の対象にならない場合があります。
- ② 兄弟姉妹や友達といっしょに取り組むときには、応募票に取り組んだ人全員の名前を書きましょう。
- ③ 初めて自由研究に取り組むという人や、まとめ方が分からないという人向けに、まとめ方の参考となるテンプレートがあります。必要な場合、担任の先生^{せんせい}に相談してください。
- ④ 自由研究に取り組むにあたり、著作権^{ちよさくけん}に気を付けましょう。
※ゲームやアニメ等のキャラクターを描いたり載せたりしてはいけません。

こんな時どうする？ 自由研究 Q & A



Q：研究テーマが決まりません。どうやって決めたらよいですか？

A：授業や生活の中で「なぜ？」「もっと知りたい！」と思ったことをテーマにしてみま
しょう。例えば、教科書を開いて興味や疑問があるページについてくわしく調べたり、新聞やテレ
ビのニュースであつかわれたことをテーマにしたりするのもよいですね。3・4年生なら「家の人の
仕事」や「好きな〇〇がどうやってできるのか。」、5・6年生なら「地域の農業、工業」や「地域の
歴史」など、授業で取り組んだことを住んでいる地域におきかえてみるのもいいですね。

Q：調べ方にはどのような方法がありますか？

A：実際に訪れて調べる、体験する、くわしい人にインタビューする、本を読むなどがあります。イン
ターネットは、大まかな内容を調べたり、どこに行けばくわしく分かるのかを調べたりする時に使
うとよいですね。

Q：まとめ方の工夫を教えてください。

A：文章だけでなく、写真やイラストを用いたり、グラフや年表にまとめ直したりしてみましょう。集め
た情報を比べて、似ている所や違う所を見つけることや、自分の知っていることと結びつけて考
えをまとめることにも挑戦してみてください。教科書の中にもまとめ方のヒントがありますよ。

Q：くわしく調べたり、研究を深めたりするためのポイントを教えてください。

A：1つ目は、調べる方法を組み合わせることです。本やインターネットで調べたことが本当か、
実際に訪れて確かめたり、くわしい人にインタビューしたりしてみましょう。2つ目は、色々な人の
立場から調べたり、考えたりすることです。例えば、食品について調べるなら、つくる人・運ぶ人・
売人・買う人などの立場から考えると深まりますよ。3つ目は、研究中に「あれ？」と思ったこ
とをさらに調べることです。調べれば調べるほど、たくさんの「なるほど！」に出会えるかもしれま
せん。

Q：先生たちが、これはすごい！と思った研究があったら教えてください。

A：「天竜川のごみの量の研究」では実際に上流、下流に行ってごみの採集をした研究がありまし
た。古墳めぐりでは、実際に石室に入って調査をした友達もいましたよ。本を読むだけでなく、
実際に見たり、聞いたり、そして触れたりすることは大切です。また、場所や時間（今と昔）を
比較することで、自分が調べた地域の特性が分かる研究になります。